

鳥取県の原子力防災対策 (令和元年度の取り組み)

令和2年3月27日(金)

令和元年度の主な取組

- 1 概要**
- 2 原子力防災訓練**
- 3 地域防災計画と広域住民避難計画の修正**
- 4 住民等への普及啓発**
- 5 資機材整備**
- 6 安定ヨウ素剤の備蓄及び服用体制**
- 7 原子力防災アプリの改修**

1 概要①

①令和元年度原子力防災に関する主な取組

1 地域防災計画（原子力災害対策編）、広域住民避難計画の修正（令和2年3月24日、防災会議）

（1）原子力防災訓練等を通じた見直し

- ・要配慮者避難にかかる移送体制の確保や原子力防災アプリの多言語化及び活用強化
- ・民間事業者との連携の強化による原子力災害時における対応能力の強化

（2）防災体制の強化

- ・避難の円滑化に資する設備整備などによる対応強化

（3）国の計画・指針修正の反映

- ・原子力施設のトラブル・事故時の状況を判断する基準の見直し

2 原子力防災訓練の実施

（1）島根原子力発電所対応 ※7/24（展開訓練）、7/31（船舶訓練）、8/26,10/7（図上訓練）

- ・11/8・9(本部等運営訓練等)、11/10(避難等の実動訓練)、参加者：38機関 約1,720名（住民約350人）
- ・訓練項目・・・①迅速な初動対応の確立 ②複合災害対応手順の確認（地震災害と原子力災害）
③円滑な住民避難と屋内退避の実施

（2）人形峠環境技術センター対応

- ・10/16、参加者：15機関 約80名
- ・訓練項目・・・①初動対応～本部運営における活動・連携の確認 ②事象進展に応じた対応手順の確認

3 県民等への普及啓発（放射線に対する正しい理解と防護対策への共通の理解に向けた普及・啓発活動）

（1）原子力防災講演会 7/6 米子市役所、7/7 境港市役所 延べ87名〔講師：横浜薬科大学 加藤 真介氏〕

（2）放射線研修会 8/22 三朝町総合文化ホール、8/23 県東部庁舎 延べ89名〔講師：量子科学技術研究開発機構 富永 隆子氏〕

（3）原子力発電施設等現地研修会（見学会）※島根県原子力防災センター及び島根原子力発電所）

- ・4/20（27名参加）、7/27（76名参加）、11/25（19名参加）

（4）避難先及び避難経路確認訓練（避難計画の理解促進や避難への不安軽減のため避難先施設等事前確認）

- ・11/24（境港市中浜地区（夕日ヶ丘1丁目）住民18名参加）

（5）原子力防災ハンドブックの作成（約21万部）

- ・H25年度から毎年屋内退避や避難時の留意点等をまとめたハンドブックを作成。H29年版から県内全戸配布

1 概要②

②令和元年度のスケジュール

区分	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
訓練		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">展開訓練 7/24</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">船舶訓練 7/31</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">#1図上訓練 8/26</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">#2図上訓練 10/7</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">人形峠環境技術 センター対応 10/16</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">島根原子力発電所対応 11/8~10</div> </div>	
普及啓発	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">現地研修会 4/20</div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">講演会 7/6,7</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">現地研修会 7/27</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">放射線研修会 8/22,23</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">バス等運転業務 関係者研修会 8/30</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">避難先・避難経路 確認訓練 11/24</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">現地研修会 11/25</div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">バス等運転業務 関係者研修会 2/17</div>

2 原子力防災訓練【島根原子力発電所対応】①

2県6市による島根原子力発電所対応の原子力防災訓練は、平成23年度から実施しており令和元年度で9回（国の原子力総合防災訓練との合同訓練は令和元年度が初めて）、実動の住民避難を伴う訓練は8回実施。

【令和元年度実施状況】

①訓練参加機関・参加者数：38機関、約1,720名（うち住民約350名）

この他、11月9日実施の児童引渡し訓練では児童、保護者、教職員約300名が参加

②訓練日程及び内容

実施日	参加機関・参加者	主な訓練内容
11月8日	14機関・約190名	災対本部等運営訓練、OFC訓練等
11月9日	18機関・約930名 (住民190名)	緊急時モニタリング訓練、避難経路確保訓練 BCP訓練、原子力災害医療活動訓練等
11月10日	27機関・約600名 (住民160名)	住民避難訓練、避難退域時検査訓練等

※他に、当県独自で8月26日、10月7日に図上演習を、7月24日に展開訓練、7月31日船舶避難訓練をそれぞれ実施

③本年度の訓練の特徴

- ・国との合同訓練により、国との情報共有及び国・県の連携した意思決定について訓練を通じて確認を行った。
- ・複合災害（地震）の想定で、3日間にわたり訓練を行った。
 - 1日目【警戒事態～施設敷地緊急事態】
 - 2日目【施設敷地緊急事態～全面緊急事態】
 - 3日目【放射性物質放出後の対応】
- ・これまでの訓練により得られた教訓の確認と新たに事項について検証

2 原子力防災訓練 [島根原子力発電所対応] ②

11月8日(金)		11月9日(土)		11月10日(日)											
時間	14:00 15:00 16:00 17:00 18:00	時間	8:30 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00	時間	8:30 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00										
訓練実施時間	<ul style="list-style-type: none"> ① 災対本部等運営訓練 ② OFC訓練 ③ 情報収集訓練 ⑦ 広報・情報伝達訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ① 災対本部等運営訓練 ② OFC訓練 ③ 情報収集訓練 ⑦ 広報・情報伝達訓練 ④ 緊急時モニタリング訓練 ⑤ BCP訓練 ⑥ 避難行動要支援者避難訓練(ゆうとびあ) ⑩-1,2 原子力災害医療訓練(消防学校/美保基地) ⑩-3 原子力災害医療訓練(済生会境港病院) ⑫ 物資補給訓練 ⑧ 屋内退避訓練 ⑪ 学校等の避難訓練 ⑬ 避難経路確保訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ① 災対本部等運営訓練 ② OFC訓練 ⑦ 広報・情報伝達訓練 ⑨ 住民避難訓練 ⑩ 避難行動要支援者避難訓練 ⑬, ⑭, ⑮ 避難退域時検査訓練 ⑯ 避難支援ポイント設置・運営訓練 ⑰-4,5 原子力災害医療訓練(安定ヨウ素剤) ⑰-1,2 原子力災害医療訓練(鳥大医学部附属病院/県立中央病院) ⑱ 避難所開設訓練 ⑲ 避難誘導・交通規制等措置訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ PAZ避難支援訓練 大山町(別日)、県庁 PAZ住民避難時の支援体制の確認を行います。 ⑧ 屋内退避訓練 米子市内、境港市内 緊急速報(エリア)メールによる屋内退避指示を行います。 ⑫ 学校等の避難訓練 学校、保育所、幼稚園 緊急時の通信連絡手順及び避難手順の確認を行います。 ⑲ 物資補給訓練 米子駐屯地、ゆうとびあ 集積した物資等を供給する際の輸送手順の確認を行います。 ⑤ BCP訓練 鳥取県庁(講堂) 境港市役所の行政機能を県庁講堂へ移転する手順確認を行います。 											
① 災対本部等運営訓練	鳥取県庁(災害対策本部室) 西部総合事務所(") 米子市役所、境港市役所 防災業務関係者の応急活動体制、指揮系統、意思決定の訓練を行います。緊急時には、災害対策本部を設置し、応急活動を行います。	② OFC訓練	島根県原子力防災センター(OFC) 原子力災害時の応急対策拠点となるOFCでの活動訓練を行います。災害発生時には、OFCで国、関係省庁、地方自治体等による対策の検討や調整が行われます。	④ 緊急時モニタリング訓練	米子市内、境港市内 試料採取、走行サーベイ等のモニタリング活動訓練を行います。	⑩-3 原子力災害医療訓練	済生会境港病院 放射線防護対策設備を稼働させた屋内退避訓練を行います。	⑩ 避難行動要支援者避難訓練	介護老人保健施設「ゆうとびあ」 放射線防護対策設備を稼働させた屋内退避訓練を行います。	⑩-1,2 原子力災害医療訓練	消防学校/美保基地 DMAT(災害派遣医療チーム)と自衛隊が連携し野外手術システムを活用したSCU(広域搬送拠点臨時医療施設)運営訓練を行います。【陸上自衛隊、航空自衛隊等】	⑬ 避難退域時検査会場設置訓練	⑭ 車両確認検査訓練	⑮ 避難支援ポイント設置・運営訓練	⑯ 避難退域時検査訓練
③ 情報収集訓練	鳥取県庁(災害対策本部室) 本部等運営訓練にあわせて情報発信等に関する訓練を行います。	⑩-3 原子力災害医療訓練	消防学校/美保基地 DMAT(災害派遣医療チーム)と自衛隊が連携し野外手術システムを活用したSCU(広域搬送拠点臨時医療施設)運営訓練を行います。【陸上自衛隊、航空自衛隊等】	⑨ 住民避難訓練	米子市内、境港市内 列車、バス、自衛隊車両、中型ヘリによる住民避難訓練を行います。災害発生時には、国の指示に基づき防護措置(屋内退避、避難等)を行います。【陸上自衛隊、JR西日本】	⑰ 原子力災害医療訓練(安定ヨウ素剤)	米子市内、境港市内 安定ヨウ素剤を事前に服用することで、甲状腺への放射性ヨウ素の取り込みが抑制されます。原子力発電所の事故の状況によって、国から配布及び服用の指示があります。【鳥取県薬剤師会 等】	⑲ 避難所開設訓練	県立鳥取東高校(鳥取市) 避難者の受入れのための避難所開設の手順確認を行います。	⑲ 避難誘導・交通規制等措置訓練	米子市内、境港市内 住民避難の誘導や渋滞交差点における交通規制、迂回誘導等を実施します。				

島根原子力発電所

UPZ 30km

JR境線

境港市

米子市

大山町

安来市

松江市

美保湾

山陰本線

大山町(別日)

県庁

消防学校/美保基地

済生会境港病院

介護老人保健施設「ゆうとびあ」

消防学校/美保基地

鳥取県庁(講堂)

県立鳥取東高校(鳥取市)

米子市内、境港市内

2 原子力防災訓練 [島根原子力発電所対応] ③



災対本部等運営訓練(11/8~10)



OFC訓練(11/8~10)



情報収集訓練(11/8~9)



物資補給訓練(11/9)



原子力災害医療訓練(消防学校SCU)(11/9)



原子力災害医療訓練(消防学校SCU)(11/9)



原子力災害医療訓練(美保基地)(11/9)